

松村蓬麻 ほうま 倫理學者、漢詩人、新體詩人。明治七年二月十四日
 長野縣伊那郡松尾村生れ、昭和二十六年五月二十一日歿（二八四—九五）。
 本名正一。別號虛明、青霞。少時橋雲叟の書を習ひ、羽生科山、丸山
 龍川等の漢詩を學ぶ。明治二十三年下伊那高等小學校を了へ、上京し
 て杉浦重剛經營の英語學校に入り在學二年、病を獲て歸郷。靜養の傍
 ら『孟子學說』（明治二十二年八月十六日富山房）、『東洋倫理孔子の學
 說』（明治二十五年九月三日資成會）を著はし、斯界に知られた。二
 十七年精神教育を唱道し、松濤義塾を開き、爾來私塾教育に過した。
 他に、『桂花一枝』（明治二十五年刊）、『天籟松風』（明治四十年十
 一月三日長野・松濤義塾、西澤書肆支店）の二冊の新體新集、『西洋倫
 理學說批評』（明治四十一年九月四日杉本書店）、『蓬麻文鈔』（大
 正二年刊）を刊行。



村澤武夫著 『松濤義塾告』（昭和四十四年九月十五日秀文社）がある。

